

<2015年 ヴェーダンタ勉強会の予定>

1月に、「タットヴァボーダ」の残りの最後の1ページを学習後、「バガヴァットギター」に入る前に、ラマナマハリシの「ウパデーシャ サーラン」を学べることになりました。

「タットヴァボーダ」は、「バガヴァットギター」に入る前に知っておくと、単語などになじみができ、入りやすいテキストですが、「ウパデーシャ サーラン」は、それより少し、「バガヴァットギター」に近づいたものです。

また、3月には、「ウパニシャッド」を学べます！！ ！！！！！！

「ウパデーシャ サーラン」、「ウパニシャッド」については、村井先生からの下記説明をお読みください。これらが、終わってから、「バガヴァットギター」に入ります。(2015年後半予定)

■ラマナマハリシの教え「ウパデーシャサーラン」 2015年1月～

近代インドの真理を獲得した聖者の中でも、ラーマクリシュナと共に、世界中にその名を知られたラマナ マハリシ。「Who am I ?」の代名詞でもある自己の探究をといいた師の貴重な言葉をまとめた「ウパデーシャ サーラン」をテキストのサットサンガを行います。

師の教えは、まさにウパニシャッドの集約であり、ヴェーダンタの一元の探究に他なりません。

ラマナ マハリシは、真理を獲得した後に、そのことについて、希少なコメントの一つを書いています。

「『見ている者』とは『誰』であるのか」という問の内へ探求すること。

私は、『見ている者』が消え去り、『それ』のみが永遠に存在するのを知った。

もはや『私が、見た。』という思考は、浮かんでは来なかった。そして、『私が、見ていなかった』という思考は、如何にして浮かんできたのか？」

この言葉の意味が、より深く理解できるテキストが、「ウパデーシャサーラン」です。

■聖典チャーンドッキヤ ウパニシャッド 第一章

2015年3月23日(月)～24日(火) 2日間コース

真理の教えがまとめられた数々のウパニシャッド聖典。

その中の一つである、チャーンドッキヤ ウパニシャッドをシュリ シャンカラ チャーリヤ師の解説にそって、読み進めます。第一章は、ヴェーダンタの瞑想の紹介です。「全ては、オームである。」この瞑想の真髓が語られる第一章をじっくりと学びます。